

教 育 研 究 業 績 書		
2010年3月31日		
氏 名 林 珮 玲 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
経営学	経営システム、HRM、評価、職能開発、多様化	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例  特になし		
2 作成した教科書、教材  『評価と人的資源管理』白桃書房刊	2005年	経営組織の中で人間の果たす役割について研究するHRMにおいて重要なキーワードといえる評価について考察した本である。HRM評価に関する日本、台湾におけるいくつかの企業実証研究・分析を積み重ねることにより評価と仕事・組織の関係の論理構成を構築し、本書の核とした。特に評価の公平性、納得性について概念化すると共に、評価の組織メンバーの支持について触れている。また、評価結果をHRMサブ・システムにどのように影響させるかについて理論のみでなく実践的にも記述した。
3 教育上の能力に関する大学等の評価  「授業に関するアンケート」	2008年前期  2009年度	授業準備もよく、学生とのコミュニケーションも良かった。授業全般につきよい結果が得られている。なお一層の研鑽をし、良い授業にしたい。 ほぼ全員の受講生は授業に満足していると答えている。他専攻の受講生にもよくわかると回答した。現行を維持しながらレベルアップをしていきたい。
4 実務の経験を有する者についての特記事項  特になし		
5 その他  特になし		
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年 月 日	概 要
1 資格、免許  特になし		

事項	年月日	概要
2 特許等  特になし		
3 実務の経験を有する者についての特記事項  個別企業の HRM 改善ケーススタディ	2008 年 10 月～ 2009 年 3 月  2009 年 4 月～ 2010 年 3 月	NPO 法人 GEM のメンバーとして、2 企業につき、HRM 診断を行い、HRM の管理技法の開発を行った。 ① 秩父にて (C 社) 味噌製造およびスーパーマーケットの HRM 改善指導を行う。 ② 水戸にて (M 社) HRM、特に評価システム改善指導を行う。
4 その他  特になし		

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1『評価と人的資源管理』	単著	2005年8月	白桃書房	経営組織の中で人間の果たす役割について研究する HRM において重要なキーワードといえる評価について考察した本である。HRM 評価に関する日本、台湾におけるいくつかの企業実証研究・分析を積み重ねることにより評価と仕事・組織の関係の論理構成を構築し、本書の核とした。特に評価の公平性、納得性について概念化すると共に、評価の組織メンバーの支持について触れている。また、評価結果を HRM サブ・システムにどのように影響させるかについて理論のみでなく実践的にも記述した。
(学術論文) 1 人的資源管理における雇用創出の概念について	単著	2007年10月	大東文化大学経営研究所 リサーチペーパー No. J-52	社会問題として失業者の増加が大きな課題になっている。この失業対策の一面は社会全体での雇用量の増大である。所謂雇用創出とか雇用創造といわれていることである。ほとんどの研究が経済学支店からのものである。本論文は経営学の観点から雇用創出概念を HRM のなかで分析・考察した研究である。方法論としては文献研究であり、多くの調査書、研究論文等を用い、雇用創出を体系的にまとめ論理の展開をしている。
2 労働市場の多様化と企業の HRM システムについての一考察	単著	2009年3月	日本橋学館大学 紀要	労働市場多様化の概念と実態を明らかにし、この多様化が HRM システムとの相互関係を解明した。そして、労働市場の多様化が個別企業の企業文化・組織風土と HRM システムの関係構造を明らかにする。多様化は、通常いわれる正規、非正規労働としての格差の問題だけでなく、core (核) と peripheral (周辺) 労働として、異質な特性を持つグループとして個別企業の風土形成に影響していると主張する。